

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



# 「たい」のあられる時津小



↑こちらからも↑

令和5年10月19日(木) 発行人：校長 森内 秀学

## 熊本県の阿蘇で見た「考働6年」の修学旅行顛末記

10月12, 13日は、熊本県阿蘇地方に修学旅行に行ってきました。6年生の学年目標は「考働(こうどう)」。それを踏まえ、修学旅行のテーマは、「相手意識をもつ」でした。青天の空の下、どのような6年生の姿が見られたのか、写真と共にご紹介しましょう。



### 【わきまえ】

昼食の場面です。形式はバイキング。肉もアイスも食べ放題です。でも、むやみに走ったり独り占めしたりはしませんでした。わきまえある行動、立派です。



### 【相手意識】

予定どおり、阿蘇中岳の火口の見学ができました。たどり着くには、中腹からバスによる3回のピストン輸送が必要でした。ですから揃って山頂で写真を撮るまで、中腹グループも山頂グループも、互いに30分ほど待ちました。でもだれも文句は言いません。相手意識のある美しい姿でした。



### 【配慮】

素晴らしい青空と雄大な山々を背景に、乗馬体験も行いました。馬の背中で揺られるワクワクする体験とは裏腹に、匂いやフンや虫も気になったはずですが、でも、臭いとか気持ち悪いとか、大きな声で叫ぶ子どもはいませんでした。飼育されている方への配慮ある言動にとっても嬉しくなりました。



### 【失敗しても、努力で報いる】

そうは言っても、いろいろと反省点はありました。上は、夜の反省会の様子。6年担任は「できたかどうかではなく、しようとしているかどうかを見ています」と告げました。失敗を許してくれる先生がいるからこそ、できるまで努力する子どもが育つのです。心温まる、素敵な修学旅行でした。